

老犬体験談

犬と一緒に過ごす楽しい
犬を飼うってステキです
一緒に思い出、プライストレス

でも、楽しいことはすぐに終わってしまう
人も犬もともに老いる
しかも犬のほうが4倍以上の速さで歳をとってしまう
そして、生きているものは100%死ぬ

犬は飼主を選べません
あなたがすべてです
あなたに、人（犬）生 預けてます
あなたの考えが、愛犬の生き方です

人の高齢化が急速に進んでいます
2010年、65歳以上の人は、全人口の22.83%でした
2030年、65歳以上の人は、全人口の31.60%と推定されています（人口問題研究所）
65歳以上は高齢者です
75歳以上は後期高齢者です

犬の高齢化も急速に進んでいます
犬の平均寿命は15歳まで延びました
食べ物、生活環境、予防医学が格段に良くなりました
7歳以上が、シニアならば、犬もすでに高齢化社会に突入です

高齢化社会はもうきています
私も高齢者にもうすぐなります
でも老け込むのはいやだ
人を年寄り扱いするな
まだまだ働けるし、楽しみたいことも多い

犬と一緒に生きていくことは、精神的にも肉体的にもプラスが大きい
高齢者には、

血圧や脈拍が安定する、笑顔が増える、認知症の予防
病気の治癒的効果を上げる、疎外感をなくす
生活にメリハリがつきリズムが生まれる などの効果があります

子供には
情操教育につながる、人の痛みがわかる、忍耐力がつく
穏やかな気持ちにさせる
家族の話題が増え、コミュニケーションが出来る

夫婦にとってもいい影響があります
潤滑油としての存在となり、会話が増える
夫婦のコミュニケーションが深まる（50%以上会話が増えた）
笑顔が増える
夫および妻が早く帰宅するようになる
夫婦喧嘩が少なくなる（飼育前に比べ約 40%減った）
癒される
協力し合うようになる
犬の場合、散歩の機会が増え、夫婦の健康増進に寄与する
夫婦喧嘩をした場合、仲裁してくれる

犬の介護、人の介護
介護する側の負担（ガンバリすぎないでは人も犬も同じ）
人の場合は親、配偶者としての介護
親から罵声を浴びるのはつらいものがあります
犬の場合は高齢だけれども気持ちは子供
最後はあなたの決断です

ペットロス
生ある者は必ず滅する
あきらめることも必要
きっとあなたをお迎えにきてくれます
一緒のお墓だつて入れます
もう1人の子がいれば、気がまぎれるかも

うちの子の場合
50年近く、ずっと一緒です

その間、5度の見送りをし、現在2人と一緒に
色々なことがありました
どの子もいい子です（でした）
ラブラドルで、すごく良い性格です（若い頃は大悪魔君のときも）
また一緒にいたかったけれど、15年後を考えると、プードルです

いつでも一緒にいたいあなたへ
あなたが先に行って待っていることになるかも
その際、どうしますか
愛犬に遺産を残す（死因贈与、信託）
有料養老院（犬）にお願いする

ボランティアやNPO法人もあります
でも、できれば家族でそこまで見届けて下さい

そして、一緒のお墓に入るのもいいかも
でも、あなたの愛犬は、犬としては最後かも
生まれ変わって、すぐそばにいるのかもしれない
楽しいときがいつまでも続くことをお祈りします